

8月1日

八月の朔（ついたち）ということで 今日には八朔（はっさく）八朔は、新しい穀物を取入れたり贈答をしたりして祝う日と言われますが食いしん坊の私は「はっさく」と言えば、あのミカンの大きいの・・・と思うわけで。

八朔の旬は冬なのになぜ、はっさく？

八朔は江戸時代末期に尾道市因島田熊町(旧因島市)の浄土寺で原木が発見されたのがきっかけで栽培されるようになり、その時に住職が「八朔頃には、食べられるだろう・・・」と言ったから「八朔」という名前が付いたとか。(住職の勘違いか、いい加減な性格だったか?)

瀬戸内の温暖な地域は雑柑と呼ばれる様々な、みかん類が育って、その中の一つが八朔です。

雑柑は、かの村上水軍が東南アジアまで遠征した際、いろいろな柑橘類の苗木や果実を持ち帰り、それらの種が芽を出し育ち交配していったものだと言われています。

八朔が村上水軍につながっていたなんて、びっくりですね。

8月2日

大雨時々降る（七十二候）の頃

今朝は台風の影響からか、ちょっと雨が降りましたが、午後はまた暑くなるようです。ところでこの大雨というのは、夕立のことです。夕立って、夕方に降るからだとかばかり思ってましたが違うんですね！

天気の良い夏の午後から夕方にかけて、入道雲によって突然降る強い雨、雷が鳴ることも多いのが夕立で、夏の季語です。

ほかの季節に、急に降るのは「にわか雨」と言うべきなんだとか。

それで夕立の語源は、急な雷雨、激しい雷雨のことを「彌降り立つ（いやふりたつ）雨」と言っていたのが、そのうち「やふたつ」になり「ゆふだち」になったのだそうです。

「いやふり」の「彌」って極めてとか最もとかますますと言った意味、立つは雷神が斎場に出てくるという意味もあるのだそうです。夕立って奥深いんですね～～

8月3日

今日は旧暦の6月16日 それがどうした・・・って？

昔々、陰暦6月16日には16個の菓子やお餅を神に供え、その後それを食べて疫病を払う行事があったらしいです。庶民は16文で餅16個を買って無言のまま食べたとか・・・。

無言で食べるなんて節分に太巻きを丸かじりする時みたいです。この行事は「嘉祥（かじょう、嘉定とも書く）」と言って、今ではすっかりなくなってしまったのに、季語辞典には残っているという不思議な行事です。

この行事に因んで現在では「和菓子の日」として新暦6月16日に和菓子屋さんが何かとイベントをしているようです。

ところで16文って、どのくらいでしょうね。

貨幣価値が違うので比べようがないのですが、もりそばが1杯16文、わらじ1足16文、草双紙（娯楽本、今で言う雑誌？）16文とあるので、大体400円～500円くらいかと想像します。

二束三文と言えば、とっても安いことを言いますが、1文が約30円とすれば、なんとブラウンは約3文ということになります。これ、嬉しいこと？悲しいこと？

ブラウンは 約 45 文で 16 個買えます (笑)  
(10 個お買い上げごとに 1 個おまけがつきま〜す)

8 月 5 日 (日)

1912 年(大正元年)の 8 月 5 日 東京・有楽町で初めてタクシーが営業を始めました。そのときは T 型フォード 6 台を使用していたそうです。まるで、馬車のような風貌の自動車で、相当のお金持ちが乗ったのであろうし、当時の町並みにどのように調和していたのか想像すると、不思議な感じがしますね。

岡山でも 平和タクシーが 1924 年(大正 13 年) 4 月から営業を始めています。

平和タクシーと言えは今でも、シックな黒いボディーが特徴で、冠婚葬祭に好んで使われているとも聞きました。

昭和初期には、大阪、東京では市内を 1 円均一で営業していたので「円タク」とも呼ばれていたようです。

は〜い! 1 円=100 銭で、どのくらいの貨幣価値かと言えは・・・

もりそばが 10 銭、カレーライスが 12 銭、下駄 1 足が 2 円、浴衣が 1 反 1 円 と言いますから、まあ 2000 円~3000 円といったところでしょうか?

庶民には高嶺の花であったことには違いないですね。

8 月 6 日

1948 年の 8 月 6 日 やっぱりロンドンでオリンピックが開かれていました。

しかし、敗戦国であった日本やドイツの参加は認められなかったのです。そこで、日本ではオリンピックと同じ日程で、競泳日本選手権大会を開催し、古橋廣之進が 1500m 自由形で当時の世界記録を更新する 18 分 37 秒 0 を出しました。オリンピックに参加できていたら、世界を驚かせる記録となっていたでしょう。

古橋廣之進さんと言えは、その後のヘルシンキオリンピックに日本中の期待を背負って 400m 自由形に出場しましたが、8 位に終わりました。

その時の NHK アナウンサーが涙声で「日本の皆さん、どうか古橋を責めないでやって下さい。古橋の活躍なくして戦後の日本の発展は有り得なかったのであります。古橋に有難うを言ってあげて下さい」と言ったことは、有名な逸話です。

日本の水泳界に大きな貢献をされ、2009 年に亡くなりました。

今のロンドンオリンピックでも、競泳はたくさんのメダルを獲得し、めざましい活躍です。古橋廣之進さんも、きっと喜んでいることでしょう。

8 月 7 日

今日は立秋 ブラウンはお休みです。

立秋と聞けば 少しは涼しくなってもいいのと思うけれど、  
暦の上ではこの日が暑さの頂点なのだから。

太陽暦で太陽黄経が 135 度のとき(定気法)で、夏至と秋分の中間です。

一日のうちでも太陽が最も高いのは 12 時だけど、気温が高くなるのは 2 時頃というのと、同じなのかな? ちなみに暦と言えは、旧暦を思われる人もいらっしゃるかもしれませんが 2 4 節季や 7 2 候は、太陽の動きから割り出されたものです。旧暦と言えは、今年は閏 3 月があったので、春が長く、その分夏も遅く、

そういう年は残暑が厳しいと言われます。

(旧暦では6月までが夏と言われ、今年は8月17日までが旧暦の夏という事になります)

おっちゃんとしては、早く涼しくなって みんなが

「大判焼き食べたい～」と言ってもらえるようにならないかなと思っているのですが。

連日の猛暑、その上まだ暑いのが半分だなんて！！

皆さんも、残暑にバテないように、くれぐれも熱中症にご注意ください。

8月8日

そろそろお盆も近づいてきました。

あの世から、死んだ人たちが帰ってくるのに、何日ぐらいかかるかご存知ですか？

釜蓋朔日といって、1日にあの世をスタートして、迎え火が13日なので

だいたい、13日ぐらいかかって、帰ってくるのだということになります。

どんな乗り物で帰ってくるのか？

あの世は十億土と言いますから、光の速さでないと13日では戻ってこれないかもしれませんね。

ちなみに 東海道53次は約321km(80里11丁)と言われ、歩けば12日~15日ぐらいかかったそうです。

おそらく 死んだ人は、タイムマシンで戻ってくるのですね！！

優しかった、おじいちゃんおばあちゃんなど、懐かしい話で一家団欒をお過ごしください。

お茶のお供は、ブラウンで！

8月9日

ムーミンの日

2005年、ムーミンの生みの親トーベ・ヤンソンさんの誕生日をムーミンの日と決め、フィンランドの著作権者も賛了承したことで世界共通の記念日となりました。日本だけでなくフィンランドでもイベントがあるそうです。

1945年にスウェーデンで出版された『小さなトロールと大きな洪水』に、初めてムーミンが登場し、その後ムーミン・シリーズとして知られる計9作品が出版されました。

日本語版は1969年に講談社から『ムーミンまんがシリーズ』として出版されました。子供の頃、ムーミンのアニメーションや童話に夢中になった方も大勢いらっしゃるかもしれませんね。

誰！？ おっちゃんのことをムーミンに似てるって言ってるのは！！

8月10日

1960年(昭和35年)の8月10日 森永製菓より日本初の国産インスタントコーヒーが発売されました。

そもそも、インスタントコーヒーを開発するのは味と香りを維持するのが難しく、初めてコーヒー抽出液を真空乾燥するのに成功したのは、アメリカ・シカゴ在住の日本人加藤サトリ博士で、1899年のことでした。

また博士は1901年のパンアメリカン博覧会で「ソリュブルコーヒー」(可溶性コーヒー)と名づけて発表し、1903年8月11日には「コーヒー濃縮物 およびその製造プロセス」で「特許番号735777号」を取得しました。しかし、これは商品としてヒットすることはありませんでした。

大ヒットしたのは、1937年、ネスレ社がスプレードライ法によるインスタントコーヒーを完成させ、翌年

に発売した「ネスカフェ」でした。そして、インスタントコーヒーと言えば「ネスカフェ」と言われるまでになりました。

森永製菓は、軍需品の醤油・野菜スープ・紅茶などの粉末化の研究実績を持っていました。そこで戦後、進駐軍愛用の「ソリュブルコーヒー」に着目し、昭和 26 年ごろからインスタントコーヒーの研究・試作を始め、ついに商品開発に成功したのです。

1960 年に発売された森永の製品は高品質の上、1 杯あたり約 10 円と安かったので、マスコミにも大きく取り上げられ、洋食化が進む時代背景も伴い、発売直後から大ブームを巻き起こしたそうです。当時の商品名はそのものズバリ「森永インスタントコーヒー」。以降、一般家庭にもコーヒーが普及し、気軽に楽しめる飲み物となりました。

今では、森永と言えばココアなんですけどね。

コーヒーでもココアでも、ブラウンとの相性はぴったりです！

8 月 11 日

今日は「ガンバレ」の日です。

朝から、サッカーの応援で「ガンバレ」を連呼した人もいるでしょうね。これは、1936 年ベルリンオリンピックに出場した平泳ぎ 200m の前畑秀子選手を応援するための「ガンバレ」の連呼に因みます。ラジオ中継を実況した NHK の河西三省アナウンサーは、「前畑がんばれ！」と絶叫し、なんと 36 回もガンバレを連呼したそうです。前畑選手は、みごと金メダルを獲得し、日本人 女子初めてという快挙を成し遂げました。その競技が行なわれたのが、8 月 11 日でした。

「前畑がんばれ！」の話は、若い人でもご存知の方は多いのではないかと思います。

前畑選手と言えば、前の 1932 年ロサンゼルスオリンピックで銀メダルを獲得しており、日本中の期待を背負っての出場だったでしょう。戦前の話ですから、その重圧は今の比ではないでしょうね。

女子 200m 平泳ぎは、56 年後の 1992 年に岩崎恭子選手が 14 歳で金メダルを獲得しました。「今まで生きてた中で、一番幸せです」という言葉に、たった 14 歳の人生で！とおっちゃんは、たまげたのです。

岩崎選手の金メダル獲得より 3 年後、1995 年 2 月 24 日前畑選手は亡くなっています。

ドラマチックな人生を歩んでいる人も、変り栄えのしない毎日を暮らしている人も、後ろ向きになって落ち込むことや及び腰で一步が踏み出せないことってある と思います。そんな時でも「ガンバレ、私」「ガンバレ、自分」と自らを鼓舞しながら、前進しなくてはなりません。「ガンバレ」の日って悪くないな と思います。

頑張った自分に、ごほうびのブラウンを？！

(それじゃ、安上がりすぎるか・・・)

8 月 12 日

君が代記念日 今朝も聞くことができましたが、

1893 年（明治 26 年）の 8 月 12 日 小学校の祝祭日の儀式で「君が代」を歌うことが決めたことに因んで記念日となりました。

「我が君は 千代にましませ さざれ石の 巖となりて 苔のむすまで」

この主や愛する人の長寿や御世を祝福する賀歌が基になっていると言われています。文徳天皇の皇子惟喬（これたか）親王に仕える藤原朝臣石位左衛門という人が、「さざれ石」を見て詠んだとの説があります

が、古今和歌集には「読み人知らず」として収録されています。ところで この歌詞にある「さざれ石」ってご存知ですか？

石灰質角礫岩のことで、石灰石が長い年月の間に雨水で溶解され、そのとき生じた粘着力の強い乳状液が次第に周りの小石をくっつけて岩のように大きくなったもののことです。

元々、おめでたい歌なので、江戸時代までは一般的に「宴会の最後の歌」「お開きの歌」「舞納め歌」として歌われたり、小唄、長唄、浄瑠璃などに替え歌としても使われたりしたようです。（ちょっとHな歌にも・・・）

考えてみれば、おめでたいけど結構身近な歌を、ヒゲをはやした明治のお役人が「天皇バンザイ」とばかりに、国の歌にしたというのも興味深い話です。明治 26 年ドイツであった世界国家コンクールで「君が代」は一等になったそうです。短くて、異国的で、荘厳な「君が代」に、西欧人はさぞかしびっくりしたので しょうね。

ブラウンを買ってくださるお客様の御世が長く続くように、おっちゃんも「君が代」を捧げようかな？！ちなみに 日本で国旗国歌法公布、施行されたのは 1999 年 8 月 13 日のことです。

8 月 13 日 足守出身の緒方洪庵が 1810 年 8 月 13 日に生まれました。（旧暦で文化 7 年 7 月 14 日）

大坂に適塾（適齋塾）を開き、明治の初めに活躍する多くの人材を育てました。また天然痘治療に貢献し、日本ジェンナーとも呼ばれる近代医学の祖です。適塾は改組・改称を経て現在の大阪大学医学部となっています。

福沢諭吉がその著作の中で「先生の平生、温厚篤実、客に接するにも、門生を率いるにも、淳々として応対倦まず、誠に類まれなる高德の君子なり。」と、真面目で温厚、礼儀正しく人望も厚い素晴らしい人だったと書き残しています。

幼少の頃、体が弱くそのために医学を志したと言われていたと、医術を仁術として「道のため、人のため、国のため」という信念を貫き、毅然としていたと言われていたとされています。

緒方洪庵が出てくる小説といえば、  
司馬遼太郎『花神』・  
築山桂『禁書売り』『北前船始末』  
漫画は、手塚治虫『陽だまりの樹』・  
村上もとか『JIN-仁-』と、  
驚くべきことに、どれもドラマ化されています。

幕末が偉人を頻出したからという理由もあると思いますが、多くの人と関わり、影響を与えた人であったからとも考えられます。

郷土の誇るべき先人の一人であろうと思います。

このような人物は、今の世の中にはいないものか・・・と、おっちゃんは憂うのです・・・。

8 月 14 日 1183 年 8 月 14 日（旧暦：寿永 2 年 7 月 25 日）平家が都落ちした日 白石踊りが始まる日

源義仲が上洛したことで平家一族は京都の防衛を諦め、安徳天皇を連れ三種の神器と共に西へ脱出した日とされています。視聴率の下落ばかりが話題になっているNHK大河ドラマ「平清盛」でも、いずれ描かれる場面だろうと思います。ところで、この治承・寿永の乱（1180年～1185年）いわゆる源平合戦では、岡山でも各所に戦場跡といわれるところがあります。

ベベンベンベン・・・時は 寿永2年の閏10月1日（1183年11月17日）

源義仲軍が部将、足利義清・海野幸広。そして迎え撃つは平重衡・平通盛。いずれ劣らぬ勇将なり。さてもさて源氏の兵士ども城より出でて今にも戦いかかろうとするや、天にわかには掻き曇り あたかも夜の如し。ベベンベンベン 源氏の兵みな慌てふためき、なす術もなく舟を退き逃げ始めるが、平氏のつわものども、かねてより日食を知りにければ、いよいよ鬨の声も勇ましく矢射掛け、攻め立て戦いける。ベベンベン・・・

水島の合戦で勝敗を分けたのは、途中から始まった日食で、暦の知識があった平家方が勝利しています。それまでの連勝で勢いづいていた源義仲軍ですが、その後味方に追撃され壊滅していくきっかけになりました。

この源平水島合戦で戦死した人の霊を慰めるために始まったと言われるのが、岡山県下三大踊りとして知られている笠岡市白石島の白石踊りです。毎年8月14日から16日にかけて盆踊りとして踊られています。

琵琶法師よろしく、おっちゃん、ちょっと源平合戦を語ってしまいました・・・  
お里帰りの、手土産にブラウンをどうぞ。

8月15日

七十二候では、ヒグラシの鳴く頃 と言われます。

蝉は夏の季語になっていますが、「蜩（ヒグラシ）」と「法師蝉（ツクツクボウシ）」は秋の季語です。

蝉といえば芭蕉の「静けさや岩にしみいる蝉の声」 が有名ですが

ヒグラシの句といえば・・・

蜩のおどろき啼くや朝ぼらけ	与謝 蕪村
蜩の茶屋静かなり杉の中	正岡子規
蜩や夕日の里は見えながら	正岡 子規
ひぐらしに燈火はやき一と間かな	久保田万太郎

おっちゃんの気に入った句を上げてみました。

実際、ツクツクボウシは10月ぐらいまで鳴きますが、ヒグラシは他の蝉に比べ特に長い時期鳴くわけではないようです。それなのに、なぜ秋の季語なのだろうかと思えます。そろそろ、秋の気配の漂う夕方の風によって聞こえてくる、カナカナカナという少し寂しげな鳴き声が、秋を連想させるのでしょうか。

でも、おっちゃんには、ギコギコギコ としか聞こえないし、ヒグラシの音が聞こえると、子供の頃おふくろから「宿題は、できているの？」とうるさく言われたことを思い出して、なにか気ぜわしいんです

が・・・。

おっちゃんも 一句

ヒグラシの 声に急かされ 宿題す

8月16日

今日は ダルビッシュ有の誕生日

昨日は、地元倉敷商業高校が甲子園で初戦突破し、まずはよかった！

野球の話題で、何かネタはないかと探していたらダルビッシュの誕生日がありました。東北高校から、日ハム、そして 今年からは大リーグのレンジャーズで活躍している今日で26歳。

4月にはア・リーグ月間新人 MVP を受賞し、現在の成績は12勝8負 防御率4.54

さて、1992年8月16日には松井秀喜5打席連続敬遠という出来事もありました。明德義塾高校（高知）対星稜高校（石川）戦は有名です。松井選手に1回もバットを振らせなかった結果なのか 明德義塾高校は勝ちましたが、この勝負について賛否はいろいろあったようです。昨日も明德義塾高校は勝ち、この高校は今まで初戦で敗退したことがないらしいです。

また、1948年8月16日は野球の神様と言われるベーブ・ルースが亡くなっています。最初にアメリカ野球殿堂入りを果たした5人の中の1人で、アメリカのプロ野球を人気スポーツに押し上げた立役者です。レッドソックス、ヤンキースで活躍しました。松井は、どうするのかな？とかWBCはどうなるのかな？とか、もちろんダルビッシュの活躍も気になるところで、今ひとつ盛り上がらない野球界ですが、気になる話題はいろいろありますね。画像は、もちろんベーブ・ルースです。

8月17日

七十二候では今日から 蒙霧升降（ふかき きり まとう）

深い霧が立ち込めるといった意味ですが、霧はまだ少し先かな？という感じです。残暑厳しいです。おっちゃん、相変わらず、汗だくでブラウンを焼いています。

（よ！ 水も滴るいい男！！）「ありがとっ！」

今日の、天気予報は上空に寒気が流れ込んで、大気の状態が不安定なので雨が降りやすいそうです。上空に、もっと寒気が迫ってくれば、霧の発生もあるので しょうか？ところで、雲と霧は基本的に同じだそうです。地面についていれば霧、空に浮いていれば雲なんだとか。また靄（もや）との違いは 視程が1km以上があれば靄、それ以下は霧となるんだとか・・・。霧は秋の季語、似ているのが霞（かすみ）こちらは、春の季語・・・そう言われれば温度感も違って来る気がします。

霧といえば、先日閉幕したオリンピックの地ロンドンが「霧の都」と言われていましたが、それは1950年代のこと。産業革命と石炭の大量使用で大気汚染によるスモッグが霧の原因のひとつだったとも言われます。ところが、都市化すると霧の発生は減少するそうです。緑が減って、コンクリートやアスファルトが増えて、乾燥が進むので霧の発生が減るのだそうです。東京では70年間でなんと、10分の1に減ったそうです。

霧が発生すると運転し難いし、ちょっと厄介だけど、霧が減ると言うのは問題のようです。このあたりで、霧が有名なのは、「霧の町三次」とか「佐用の朝霧」などと称しています。霧よ、いつまでも・・・

霧の歌と言えばちょっと切なかったり、秘密めいていたりロマンチックでもありますが

霧にむせぶ夜  
夜霧のしのび逢い  
夜霧よ 今夜もありがとう  
霧の出船  
霧の摩周湖

なんだか古い歌ばかりで、おっちゃん懐かしくてちょっと切なくなってきたよ～。

8月18日 今日高校野球の日

1915年に第1回全国中等学校優勝野球大会（のちの全国高等学校野球選手権大会）が開かれたことを記念して設けられた日です。今、まさに甲子園では熱い戦いが繰り広げられており、地元 倉商も第4試合の予定です。悔いのない試合をして欲しいですね。おっちゃんも応援してますよ！

さて、甲子園の熱戦と言え、数々ありますが

個人的に言えば 1998年夏 第80回全国高等学校野球選手権大会準々決勝第1試合  
南大阪代表・PL学園 対 東神奈川代表・横浜との試合ですかね・・・。

延長17回 横浜の投手は松坂大輔で投球数250を一人で投げぬきました。どえらい怪物投手が出たな・・・って感じてましたね。結局 9-7で横浜高校が勝ち、準決勝に進みましたが、この準決勝の明德義塾 対 横浜も横浜が6点差からの大逆転を果たして決勝にコマを進めた名試合でした。

少し年配の人なら、名試合と言え、1969年（昭和44年）まさに 8月18日

第51回全国高等学校野球選手権大会の愛媛県立松山商業高等学校 対 青森県立三沢高等学校の試合でしょうか。史上初・決勝戦での延長18回引分（大会規定）。速球の太田と制球の井上の壮絶な投げ合いでゼロのまま試合が進み、再試合となりました。太田の名前は忘れられないという人も少なくないようです。

岡山県勢の名試合と言え

まず 「カミソリシュート」平松政次の活躍した1965年春の第37回選抜高等学校野球大会の優勝惜しくも準優勝でしたが、1999年 第81回全国高等学校野球選手権大会の岡山理科大学付属高校延長再試合の名試合と言え、第78回選抜高等学校野球大会2回戦の関西高校 対 早稲田実業学校の試合。早実 ハンカチ王子こと斎藤佑樹と号泣王子（これ、知りませんでした）関西 ダース ローマシュ。再試合の結果4-3で関西は敗れましたが、熱戦でした！さあ、今日もいい試合を期待しています。

8月19日 警察手帳交付の日

1874年（明治7年）8月19日 初めて警察手帳が警察官に交付されました。当時は各県の警察ごとに独自のものを交付していましたが、1935年（昭和10年）11月26日より全国统一されました。

警察手帳と言え、サスペンスドラマや刑事ドラマでも、おなじみの小道具ですね。昔は「こういう者ですが・・・」とか言いながら胸のポケットからチラリと手帳の表紙を見せるんです。七曲署の山さんや湾岸署の和久さんなどは、あの手帳に聞き込み情報をこまめに記入していた印象があります。

そういえば、最近手帳と言うよりアメリカのバッジケースのようなものを、特命係の杉下右京なんか、さっと顔の前にかざして、まるで水戸黄門の印籠みたいだなあなんて思ってしまいます。あの警察手帳は2002年（平成14年）10月1日から使われています。

手帳じゃなくても、手帳とはこれ如何に？！

警察官が警察手帳を提示するのは、もちろん犯人を怯ませたり、逮捕したり、また犯罪を未然に防ぐため



のものだと思いますが、最近は「なりすまし詐欺」と言うのもあるし、時々執拗な職務質問でトラブルが起こったりするので私たちも「念のため警察手帳を見せてください」と言う必要があるかもしれません。

滅多に本物なんて見かけないので、レプリカにだまされないようにしないと・・・。本物の警察手帳は、チョコレート色で、顔写真と認証番号はきっちり確認 しましょう。手帳には名刺を必ず入れるようになっているので、必要ならば1枚もらおうとよいでしょう。（おっちゃん、何のアドバイスしてるのか！？）  
もしもそれで拒否されて「制服を着ているから警官だ！」というのは、認められません。  
制服と言え、知り合いの自衛官が制服のままマルナカに買い物に行ったところ、警備員さんに間違われて「そのカート片付けといて！」と言われたそうです。心優しい彼は黙ってカートを片付けたそうですが、少なからぬショックを受けていました。最近は、インターネットで怪しげな制服も購入できるので、一層気をつけないと・・・

8月20日 今日蚊の日 え～～～ そんな日嫌だ！！

1897(明治30)年8月20日イギリスの医学者ロナルド・ロスがハマダラカ類の蚊の胃の中からマラリアの原虫を発見し、それがマラリアの原因であることを証明しました。これにより1902(明治35)年にノーベル生理学・医学賞を受賞しています。

マラリアは、100カ国以上にみられ、年間3～5億人が感染し、そのうち150～270万人が亡くなっている恐ろしい病気です。

知り合いの岡大の教授だった人が、マラリアとサラセミアに関する研究のためにミャンマーで人々の血液を調べました。

サラセミアというのは、赤血球の中のヘモグロビン異常による病気です。このヘモグロビン異常は、マラリア原虫にとっても生活しにくく、マラリアに抵抗力をもったサラセミアの患者が自然淘汰で生き残ってきたのではないかと仮説を立てています。これは研究中とも言われていますが、これって究極の回避葛藤の結果 ですね。この先生は、ミャンマーとの関わりの深い方で今でも医療面で支援を続けています。ミャンマーの献血制度の構築にも貢献されました。

蚊に刺されるのは、マラリアに関係なくても不愉快です。夏の暑さは我慢できても、この蚊に刺されたかゆみは、本当に嫌になります。最近の蚊は少々のかゆみ止めでは効果がないようです。

8月21日

今日は噴水の日 ブラウンはお休みです。

1877年8月21日 東京の上野公園で第1回内国勸業博覧会が開催され、その会場の人工池に日本ではじめての西洋式噴水が作られたのを記念して設けられた日です。涼しげでいいですけど、一体誰が決めたの？と思います。公園関係者？造園業者？

さて、岡山駅前の噴水の写真で、ちょっとだけ涼を感じてください。おっちゃんも、一休み一休み・・・

8月22日

1978(昭和53)年、植村直己さんが犬ゾリ独行でグリーンランド縦断に成功した日 植村さんは、この年4月29日に北極点に到達し(単独到達世界初)5月12日にグリーンランド北端を出発し8月22日に南端に到着しました。

植村さんといえば、日本人で初めてエベレスト登頂に成功したり(1970年5月)、マッキンリーに登頂し世界初の五大陸最高峰制覇したりした冒険家です。最も有名なのは、やはり犬ゾリでの独行でしょう。

1973年に3千キロ、1974年に1万2千キロを成功させています。映画「植村直己物語」でも犬ゾリのシー

ンは大変印象的でした。

1979年にはイギリス王室から優れた冒険家に贈られるバラード・イン・スポーツ章を受賞し、世界的にも名前が知られるようになりました。しかし1984年2月12日 マッキンリー巔冬期単独登頂（世界初）に成功した翌日消息を絶ち、帰らぬ人となったのです。

植村さんの名言は、いくつか残っていますが

私も人相応に年齢を重ねてきたし、  
できればもっと重ねていきたいと思うが、  
近頃感じるのは、経験の一つ一つが、  
随分時間の経った今頃になってひょいと帰ってきて、  
私を勇気づけてくれることだ。

若い人には分からないかもしれないけれども、年を重ねると若い頃の苦労や経験が、困ったときの解決法になったり、知恵や勇気になったりする。ましてや命を懸けた冒険家にとっては、大きな力となるのだろう。人生には無駄なことはない！

リスクが伴ったり、成功率が低かったりすると「冒険だ」とか言う。そんなこと言ったら、おっちゃんだって「追加の饅頭を焼いておこうか？やめようか？冒険だ」な～んてね。

冒険で思い出した！知り合いの山男がエベレストに登頂したお土産だと言って石をくれたのを。確か・・・と思って探したら机の引き出しの奥に、あった、あった。

だいたい誰に話してもエベレストの石だなんて信じてくれない普通の石灰石だ。だが、アイツがエベレストに登ったのは事実だ。どんな思いで、この石を拾ったのか想像すると、なんだか捨てることもできないんだよな～。

8月23日

二十四節気の「処暑」暑さが峠を越えて収まる頃。七十二候では「綿の花しべ開く」頃と言います。

はて？ワタの花ってどんな花？ワタの実がはじけて白い綿が出ている写真は見たことがある気がするけれど、どんな花だろうと思って調べてみれば、ワタはアオイ科で、花はハイビスカスやオクラ、ムクゲなどに似た花を咲かせます。暖かいところを好む花ですが、開花にはある程度の乾燥が必要とも記載されていたので、「湿り気が収まって少し涼しくなる頃咲くってことかな？」と理解しました。

日本が富国強兵と言っていた明治時代 綿花の栽培が奨励され日本の紡績産業は世界最大に達したと言われる。しかし安い外国産のワタを輸入するようになり、今では国内栽培は皆無だそうです。

真綿と言えば生糸のこと。生糸を紡ぐ事は製糸。紡績は綿や羊毛、麻のこと。祖母は、厚手の木綿のことを天竺なんて言い方もしていました。なかなか難しいぞ・・・。

そういえば、おっちゃんの幼い頃には、夏によく晴れた日には、おふくろが「綿の打ち返し」と言って布団のワタを入れ替えたり足したりして、冬に向けて支度 をしていました。新しいワタは大きなクラフトの紙袋に入っていて、確か実の殻の破片なんか混じっていた・・・（記憶違いかな？）綿毛で髪の毛が汚れる からか、手ぬぐいで姉様被りなんかしてね。

紡績と言えば、やっぱり倉敷紡績（クラボウ）ですよね。倉敷の繁栄はクラボウ無くしては語れませんね。

おっちゃんの家付近には、クラボウの岡山北方工場（後の岡山工場）があったんだけど（1922年～）2009年に閉鎖され、今度榊原病院になります。9月18日オープンで今は追い込みの内装仕上げをしているようです。旭川の土手から見た古いクラボウの建物は時代を感じさせて、それなりに好きだったけど、

新しい病院に変わって広々した景色も新鮮な感じがして悪くないです。（画像は在りし日のクラボウの社屋）

8月24日 1879年（明治12年）瀧廉太郎が生まれました。

明治時代、まだ西洋音楽の黎明期に日本独自の曲を作り、世界的にも高い評価を得ています。惜しくも結核により23歳という若さで亡くなっています。廉太郎の曲で有名なのは「荒城の月」「花」他にも唱歌などたくさんあります。

また当時のイデオロギーを表したと思われる「日本男児」「勇兵」「命を捨てて」「豊太閤」徳川光圀の詩に曲をつけた「荒磯の波」など、あります。これらの歌詞は人々を高揚させるような勇ましいものばかりで、今の私たちからすれば驚くばかりです。西欧列強に追いつけ追い越せとばかりに人々を励まし続けた歌に 違いありません。

励ますと言えば

人の一生は、重荷を負うて遠き道を行くが如し、急ぐべからず。  
不自由を常と思えば不足なし、心に望み起らば困窮したるときを思い出すべし。  
堪忍は無事長久の基、怒りは敵と思え、勝つことばかり知りて、  
負けることを知らざれば、害その身に至る。  
己を責めて人を責めるな、及ばざるは過ぎたるより勝れり。  
（徳川家康公遺訓より）

幼い頃、毎日のように今は亡き父に暗唱させられた言葉です。おかげで今でもよく覚えています。最近は今更のごとくこの言葉を自身に言い聞かせながら、まんじゅうを焼いています（笑）

「重荷を負うて」・・・と言いながら「人生って甘くないゾ」と思い  
「急ぐべからず」・・・と言いながら「くじけるな、気長にやればいいんだ」と、気持ちを奮い立たせています。誰しも、時としてモチベーションを失いかけることってあると思います。こんな事をしていいの？自分って何てダメなんだ！と自信をなくすことも・・・。

そうした時、先人の名言には重みがあり弱りかけた気持ちに激を飛ばしてくれる気がします。座右の銘を持つっていいものだと思います。オヤジとの思い出も相まって、元気出さなきゃ！と思うおっちゃんなのです。（画像は駿府公園にある東照公御遺訓の石碑）

8月25日 チキンラーメン誕生の日

1958年8月25日 大阪・梅田の阪急百貨店うめだ本店で試食販売が行われたのを記念して設けられた日。もちろん日清食品が決めた日です。

チキンラーメンの開発者である安藤百福氏については2003年に放送されたNHK連続テレビ小説「てるてる家族」で、ご存知の方もいらっしゃるのではない と思います。戦後の食糧難時代に、飢餓や栄養失調で死

んでしまう多くの子供たちを目の当たりにして、なんとかしたいとの強い思いからチキンラーメンは開発されたものです。当時の百福氏は、財産を没収されて無一文の状況でしたが、古くから東洋の食文化である麺類をもっと奨励すべきと、自宅裏の小さな掘立て小屋で研究をしたそうです。

飢餓の体験が生み出したものと言えば、「アンパンマン」もそのひとつではないかと思います。やませたかし氏は従軍中の空腹体験がアンパンマンの発想だったと聞いた事があります。確か、「あんぱんまん」の絵本には、とってお腹の減った旅人のところに、アンパンマンが飛んで行って頭を食べさせてあげる話だった気がします。

安藤氏、やなせ氏の強い思いは、長い年月を経ても私たちに伝わっているからこそ、「チキンラーメン」は54年「アンパンマン」は43年、廃ることがないのだろうと思います。

おっちゃんは、大判焼きが家族の絆を深めたり、みんなを笑顔にして欲しいと思って焼いています。食べるものは「安心・安全」が一番なので、岡山県産の米粉にこだわり、話題づくりのために、楽しいフィリングを沢山そろえています。おっちゃんの思いも広がればいいな・・・。

でも、世界のどこかには今まさに飢餓や栄養失調で亡くなっている人もいます。まずは、食べられる幸せに感謝。

(画像は発売当時のチキンラーメン)

8月26日 1910年8月26日 マザーテレサが生まれました。

マザー（指導者への敬称）テレサ（修道名）は本名をアグネス・ゴンジャ・ボヤジュと言い、今のマケドニア共和国のスコピエに生まれました。マザーテレサの人柄や偉業は、言うまでもありません。

1979年に受けたノーベル平和賞を受け、授賞式に普段着で出席したとか、晩餐会は不要ですと言った話、賞金で「何個のパンが買えるでしょうか？」と言ったなど、エピソードも有名です。またインタビューで「私たちが、世界平和のためにすべきことは？」との質問に「家に帰って家族を愛してあげてください」と、とてもシンプルに答えて私たちを驚かせたのでした。

日本との関わりといえば 1981年・1982年・1984年の3回来訪されています。マザーテレサは日本に関してこのような言葉を残しています。

豊かそうに見えるこの日本で、心の飢えはないでしょうか。だれからも必要とされず、だれからも愛されていないという心の貧しさ。物質的な貧しさに比べ、心の貧しさは深刻です。心の貧しさこそ、一切れのパンの飢えよりも、もっともっと貧しいことだと思います。日本のみなさん、豊かさの中で貧しさを忘れないでください。

愛は家庭から始まります。まず家庭の中で不幸な人を救いなさい。両者が愛し合い、母親が家庭の中心となりなさい。平和とうるおいの家庭が築けたら、隣人を愛しなさい。自分が、自分の家庭が、愛に満たされなければ隣人を愛せません。

昨日は、食べ物がない悲しさからロングセラーを作り出した人の話でしたが、マザーテレサは食べ物に対する飢餓よりも、愛や感謝に対する飢餓の方が大きいと言葉を残しています。

あまりにも偉大で、おっちゃんは「なんもいえね〜」です。でも「感動した！」やっぱり先人の名言で、自分の足元を見直したり、気持ちを引き締めたり、愚かな考えを改めたりする必要がある気がします。

マザーテレサは世界中の見守る中、1997年9月5日 87歳で亡くなりました。

8月27日 男はつらいよの日

1969年8月27日に『男はつらいよ』シリーズの第一作が公開されたことに由来しています。シリーズは48作（1995年）と特別編が作られています。

「わたくし、生れも育ちも東京は葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎人呼んでフーテンの寅と発します」は、映画をそんなに知らなくても、耳にしたことが、あるのではないかと思います。また、テーマ曲も有名ですね。

長くシリーズが続いたのは、憎めない寅さんの人柄、日本の良さ、そして各地に及んだロケ地の良さもあるうかと思えます。

岡山との関係を見れば、さくらの 夫 博の故郷が岡山（高梁）ということもあって3回のロケが行われているようです。

第8作 1971年12月29日 男はつらいよ 寅次郎恋歌 岡山県（備中高梁）

第32作 1983年12月28日 男はつらいよ 口笛を吹く寅次郎 岡山県（備中高梁）

第48作 1995年12月23日 男はつらいよ 寅次郎紅の花 岡山県（滝尾・津山）

今でも、そして海外でも寅さんは不滅のようです。

在りし日の、日本情緒や人の温かさ、再確認できそうです。

8月28日 七十二候の「天地始めて寒し」

本日はお休みします。

観測史上最大級の台風の影響でしょうか？強い風が吹いています。涼しいような、蒸し暑いような・・・

ところで、天地始めて寒し・・・朝夕はしのぎ易くなってきましたし、秋の虫の声も冴えてきました。夜明け前に、窓からちょっと涼しい風が入ってきて、思わずタオルケットを肩まで引き上げてしまいました。その、ちょっと暖かい感じが、とっても心地良くて、二度寝してしまいそうです。

みんなが、大判焼きを食べたくなる、北風を待ち焦がれているおっちゃんです。季節の変わり目、風邪などひかれませんように・・・。

8月29日 モーリス・メーテルリンクの誕生日

戯曲童話「青い鳥」の作者として知られているメーテルリンクは、1862年8月29日ベルギーのガンに生まれました。今年生誕150年です。子供の頃、「青い鳥」を読んだ人も多いと思います。チルチルとミチルの兄妹が幸せの青い鳥をさがして過去や未来の国を訪ねるのですが見つからず、目が覚めると自分の家に青い鳥がいたという話です。

追い求めていた「幸福」は、遠い処にあるのではなく手の届くところにあり、それは他人を幸福にすることだったというメッセージが込められています。「死とは何か?」「幸福とは何か?」といった哲学的な示唆にも富んでいて、当時大人にも大きな反響を呼んだと言われています。「おとぎ話をういた神秘的な手法で読者の感性に訴え、想像力を刺激し、創造的な考え方を示してくれる」という理由で1911年にノーベル文学賞を受賞しています。

「チルチルの青春」という青い鳥の後日譚で「幸せな結婚とは?」を描いたり、死について多角的に考察したりしたエッセイ「死後の存続」、そのほか戯曲、博物誌や昆虫記のような作品も書いています。100年前の著作ですが、今の世の中に通じるものがあります。

メーテルリンクの名言です。

みんなが考えているより、ずっとたくさんの幸福が世の中にはある。  
たいていの人は、それを見つけられないだけなのだ。

どれだけ不幸な者であっても、どれだけ貧しい者であっても、心の中には限りない美しい宝物が眠っている。

「まさに幸せの青い鳥は、自分の所にある」と言っています。それに気づくか気づかないかは本人次第なのだ・・・。今「青い鳥」を読み直したら、子供の時とは違う感想を持ちそうです。

ブラウンの中に、ささやかな幸せを、めいっぱい詰め込んで、今日もおっちゃん、饅頭を焼くよ!

8月30日 富士山測候所記念日

1895(明治29)年、8月30日 大日本気象学会の野中到が私財を投じて富士山に観測所を作り、家族とともに冬山の観測を試みました。

これ知ってるぞ! って感じ。新田次郎の「芙蓉の人」に描かれているからです。新田次郎の作品は、おっちゃんぐらいの世代なら夢中になった人は少なくないはず!

野中到は「天気予報が当たらないのは、高層気象観測所がないから」と言って富士山頂に観測所を設けることを考えますが「国が、いきなり危険なところへ観測所を建てることはできないから、個人で可能なことを実証してみせる」と言いました。そして妻の千代子は、夫に逆らうことなく、足手まといにならないように決死の覚悟を持って、冬の富士山頂での観測に従ったのでした。これぞ夫唱婦随。

野中夫妻の壮絶な観測の様子は橋本英吉の「富士山頂」にも描かれ、映画化されています。新田次郎の「芙蓉の人」はテレビドラマになりました。

現代なら「個人に危険なことをさせるなんて、国は何をしているのだ?!」と思われるし、夫が冬の富士山で観測するなんて言えば、妻は「あなた、一人で行ってくださいよ。園子（娘）のお受験だってあるのにムリムリ。単身赴任でお願いします」と簡単に言われてしまうに違いありません。

明治って一体どんな時代なんだ?!

野中到は1889年（明治22年）大学予備門を中退しているのですが、これがちょうど正岡子規や夏目漱石など「坂の上の雲」の面々と同い年になるのです。

写真を見れば、暖かい衣服も装備もなく、何をするにも肉体的な苦痛を伴う時代。当時の人々の崇高な志と勇気と努力の上に成り立っている今の暮らしなのに、現代人の体たらくときたら・・・おっちゃん、いささか義憤を覚えるのです。

8月31日 第123代天皇 大正天皇の誕生日

1879年（明治12年）8月31日 明治天皇と典侍・柳原愛子との間に生まれ、明宮嘉仁（はるのみや・よしひと）と命名されました。明治天皇には15人のお子様が生まれましたが、成人した男子は大正天皇だけです。なんと10人の子供が死産や夭折しています。

ところで、戦前には天皇の誕生日は天長節と呼ばれて祝日でした。

明治天皇の誕生日は11月3日で 明治時代は「天長節」、大正時代には「明治節」、昭和時代以降は「文化の日」として祝日です。

昭和天皇の誕生日4月29日は、昭和時代には「天皇誕生日」、そして平成になってからは「みどりの日」「昭和の日」として祝日です。

その点、大正天皇の誕生日は祝日どころか知る人さえいないような日です。

明治、昭和天皇に比べ、大正天皇は生来病弱で、学校に通うこともままならなかった暗愚の君子と言われますが、実は気さくで話し好きな朗らかな性格だったとも伝わっています。

地方巡行の際に、福岡知事に「たばこは好きか」と聞き持っていたタバコを勧めたとか、岡山県知事に「貧民の状況はどうか」と質問し、感激した知事が急いで報告書を作ったとか、病院で患者に直接声を掛けたとか、当時では考えられないエピソードが沢山残っているようです。

大正天皇の噂で有名なのは、帝国議会の開院式で詔勅を読んだ後、その勅書をくるくると丸め、遠めがねにして議員席を見渡したと言うものなのでしょう。しかし、真偽は分かっていません。

47歳という若さで亡くなっていますが、天皇という権威者ではなく庶民的な普通の暮らしに憧れていた、ちょっとセンチメンタルな人ではなかったのでしょうか。当時としては、その天真爛漫さは暗愚と言われるしかなかったのかもしれませんが。